

大月町 事前復興 まちづくり かわら版

平 山

第 2 号

昨年度に引き続き、令和 7 年度
第 2 回ワークショップが開催されました。

2025 年 7 月 2 日（土）19:00 ～ 21:00、平山区役
場にて事前復興まちづくり計画に向けた地区
ワークショップが開催されました。

第 2 回地区ワークショップでは、「南海トラ
フ巨大地震が発生した場合」を想像しながら、
地区としての復興の方向性や、被災後の多様な
住まい方に関する意見交換を行いました。

【地区としての復興の方向性】

●漁業を守るまち

・いまやるべきことをやる

・外国人が増えるのは
ちょっと不安

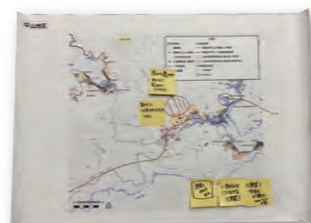
まちとしては
継続したい！



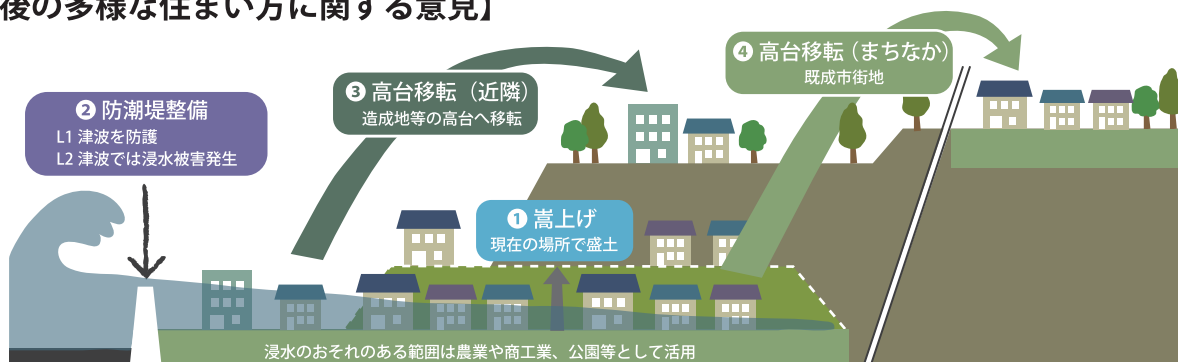
・自力での再建は厳しい
・家がなくなったらし
うがない
・理想と現実が違う



・高齢者が多く、仮設住
宅に入ったら、なか
なか動けなくなりそう



【被災後の多様な住まい方に関する意見】



居住の制限

浸水のおそれのある区域は居住の制限を検討
※範囲は L1 対応の堤防整備等を踏まえて津波シミュレーションの結果を踏まえて設定

① 嵩上げ

・災害公営住宅



・自力での再建は難しい

② 防潮堤整備

・堤防じゃこたわん

③ 高台移転（近隣）

一番人気！

・高台の敷地を買えと言われ
ても、よう買わん

・土地取得のための支援が欲
しい

④ 高台移転（まちなか）

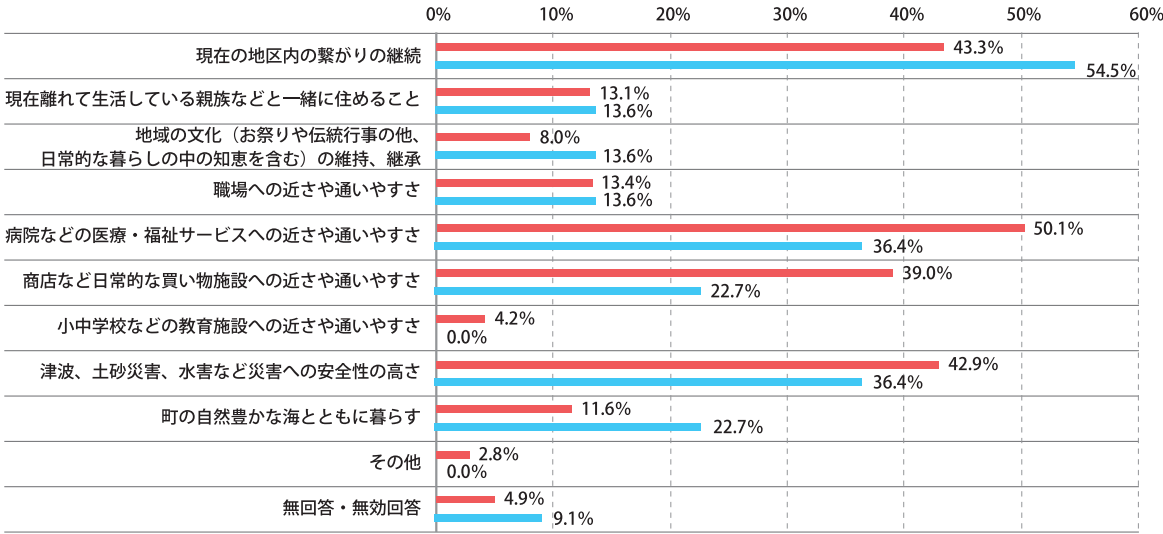
・理想としては、地区のコミ
ュニティが保たれる場所が
良いんじゃないかな

・被災した人がどこで暮らすか選べると良い

大月町事前復興アンケート調査を実施しました。ご協力ありがとうございました！

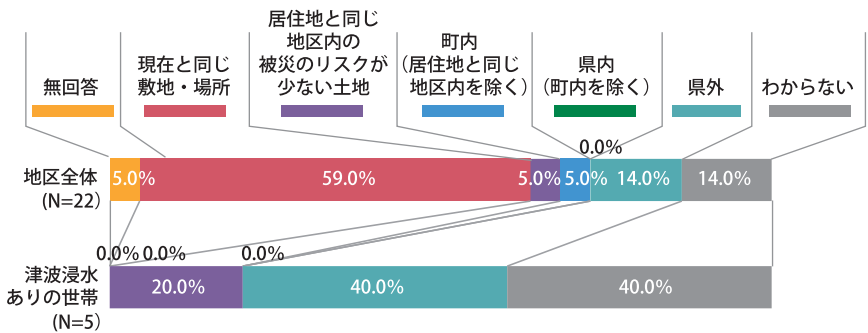
2025 年 8 月 25 日までの2週間、全町民の方を対象に、事前復興まちづくりに関するアンケート調査を実施しました。一部ではありますが、被災後の住まい方に関する質問を中心に地区の回答結果について、共有させていただきます。

●被災後の住まいで重視する内容（地区と町全体での回答を掲載）



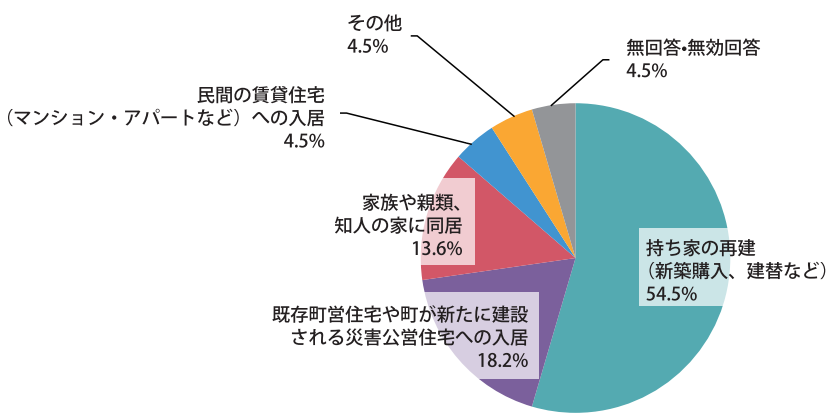
●被災後の住まいで重視する内容について、大月町全体では「病院などの医療・福祉サービスへの近さや通いやすさ」が 50.1% と最も多く、次いで「現在の地区内の繋がりの継続」が 43.3% となった。平山地区では「現在の地区内の繋がりの継続」が 54.5% と最も多く、次いで「病院などの医療・福祉サービスへの近さや通いやすさ」、「津波、土砂災害、水害など災害への安全性の高さ」が 36.4% となっている。

●被災後、生活を再建する際に望ましい住まいの場所



●被災後、生活を再建する際に望ましい住まいの場所について、平山地区全体では「現在と同じ敷地・場所」が 59% と最も高く、次いで「県外」、「わからない」が 14% になった。津波浸水の予想される世帯では「県外」と「わからない」が 40%、「居住地と同じ敷地・場所」が 20% となっており、地区全体と浸水する世帯とは大きな違いがあった。

●復興の際の住まいの形態 (N=22)



●復興の際の住まいの形態については、「持ち家の再建」が 54.5% と最も多く、次いで「既存町営住宅や町が新たに建設される災害公営住宅への入居」が 18.2% となった。